

第40回(社)日本口腔インプラント学会・学術大会

2010年9月19日

演題『補綴主導型 コンピュータガイドドシステムを用いたインプラント治療』

サージカルガイドによるインプラント埋入手術は、コンピューター技術やCAD/CAMテクノロジーなどの進歩の“賜”であり、治療計画の立案から、上部構造物の作製までを総合した“安全で正確な治療結果を導き出すことを目指したインプラント治療システム”として、今後の主流となると考えられます。補綴物作製を含めた術前のプランニングの口腔内再現性や精度の高い埋入、解剖学的制約が強い部位への応用、使用することで骨増生などの複雑な手術回避の可能性、手術時間の短縮やヒューマンエラーによる偶発症の回避、適応範囲の拡大などが可能となります。(日本歯科評論 2010. 8月号三上格氏記事抜粋)

今回は、「BioNa® (ピオナ)」によるインプラント埋入シミュレーション、および事前のシミュレーション通りにインプラントを埋入するための「Bone Navi® System(ボーンナビシステム)」を用いたコンピュータガイドドサージェリーや他社のガイドシステムの情報も踏まえ、北海道苫小牧市にてご開業の三上格氏にご講演いただきました。

会場の様子



左:三上格氏



多くの方がご来場されました

講師のご紹介



三上 格氏

医療法人社団 みかみ歯科・矯正歯科医院 院長

北海道形成歯科研究会副会長

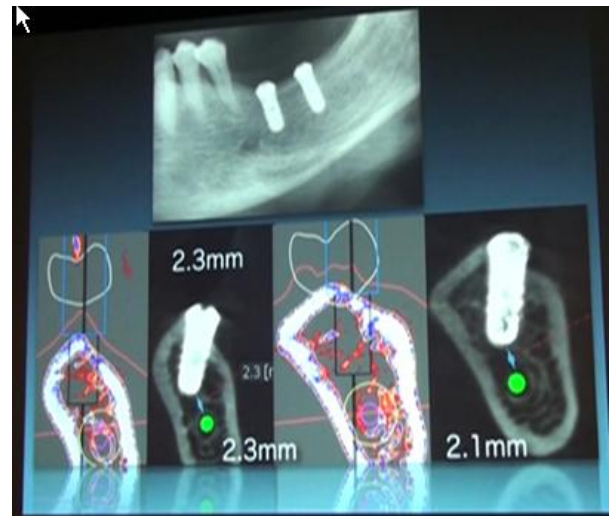
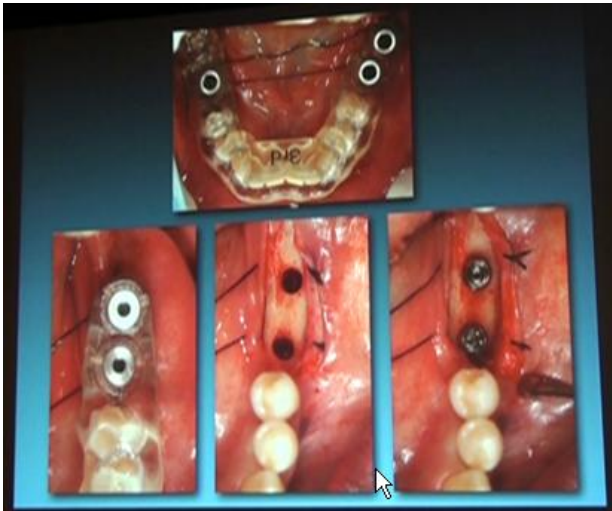
日本歯周病学会認定医

日本口腔インプラント学会認定医

日本顎咬合学会認定医

講演中の症例写真

症例1 主訴:咀嚼しにくい



症例3 下顎オトガイ孔間オープンフラップ・ガイドサージェリーによるインプラント修復



症例4 上顎多数歯欠損部オープンフラップ・ガイドサージェリーによるインプラント修復

